

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【公表番号】特表2018-515333(P2018-515333A)

【公表日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2017-560138(P2017-560138)

【国際特許分類】

<i>B 01 D</i>	53/64	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	53/83	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	53/50	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	53/10	(2006.01)
<i>B 01 J</i>	20/10	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	53/14	(2006.01)
<i>B 01 J</i>	20/12	(2006.01)
<i>B 01 J</i>	20/18	(2006.01)
<i>B 01 J</i>	20/20	(2006.01)

【F I】

<i>B 01 D</i>	53/64	1 0 0
<i>B 01 D</i>	53/83	Z A B
<i>B 01 D</i>	53/50	1 0 0
<i>B 01 D</i>	53/10	
<i>B 01 J</i>	20/10	D
<i>B 01 D</i>	53/14	1 0 0
<i>B 01 J</i>	20/10	A
<i>B 01 J</i>	20/12	A
<i>B 01 J</i>	20/18	B
<i>B 01 J</i>	20/20	B

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月23日(2019.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

燃焼排ガスから水銀を除去する最も有望な解決策の1つは、活性炭注入(A C I)である。活性炭は、容易に調達でき、高度に多孔質の非毒性材料であり、水銀蒸気に高い親和性を示す。この技術は、都市ごみ焼却炉で使用するため、すでに確立されている。前記A C I技術は水銀除去に効果的であるが、活性炭と燃焼排ガスとの接触時間が短いと、前記活性炭の完全な吸着能力が効率的に利用されない。水銀は、炭素が燃焼排ガス流に運ばれる間、ボイラーフライアッシュと一緒に吸着される。炭素およびフライアッシュは、電気集塵装置(E S P)またはバグハウスなどの微粒子捕捉装置によって取り除かれる。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある(国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む)。

(先行技術文献)

(特許文献)

(特許文献1) 米国特許出願公開第2013/0330257号明細書

(特許文献2) 米国特許第5,064,805号明細書

(特許文献3) 米国特許第5,726,118号明細書